

審 議 会 等 の 会 議 の 開 催 結 果

会議の名称	令和2年度 第1回加東市立図書館協議会
開催日時	令和2年9月3日(木) 18時00分から19時30分まで
開催場所	加東市中央図書館 会議室(2階)
<p>◇協議事項</p> <p>(1) 令和元年度 図書館活動報告について 説明：会議資料と『くらしのなかに図書館を(図書館年報)』より</p> <p>(2) その他 平成30年度実績について</p> <p>◇協議の概要</p> <p>(1) 令和元年度 図書館活動報告について</p> <p>議長： 令和元年度の図書館活動報告について、ご意見・ご質問があればお願い致します。</p> <p>委員： 今回は、コロナの時(注・入館制限時)の図書館の対応が良かったのでそれは、大変感謝しております。ありがとうございました。本を今までに読んでいない人が読むとすれば、暇を持て余した人が読むということが多いと思うのですが、市民病院等に図書を貸出したり、移動図書館のようなことはできないですか。病院に入院している人は暇なのです。普段は読まないけれど、そこに本があれば読むと思うのです。それはどうでしょう。もし無理ならばリサイクル図書の書架を作ってもらおうという形でもいいと思うのですが。</p> <p>議長： 本当ですね。一つご意見が出ましたので、またご検討を。病院にも図書コーナーというのがあったように思いますが、コロナの時は、私のいきつけの病院は、図書を全て撤収をされてしまったので、この時期にアクションを起こすのは、難しいかもしれませんが、そのような心配が無い時には是非考えていただきたいと思います。</p> <p>事務局： 以前から、市民病院の看護師さん等がリサイクル図書を求めて来られて、それを病院に置かれていたことはありました。</p> <p>委員： 本当に、暇なのです。</p> <p>議長： 図書を求めている場所ですね。他にございませんか。</p> <p>委員： 感想でもいいですか。滝野を利用していますが、いいなと思うのは、お母さんが、自分が読みたい、又は、子どもに読ませたい本を、小さな子どもと一緒に選んでおられるのは、良いことだなと思って見させてもらっていました。自分自身は加茂小学校の図書室での経験ですが、図書館に行っていることで、好奇心が芽生えてくると思うので、是非ああいうことを続けていただけると嬉しいなと思い</p>	

ます。

おじいさんやおばあさんが自分だけではなく孫やひ孫を連れて行くような図書館にしていただければ嬉しいなと希望します。自分も将来ひ孫ぐらいを、連れて行けることが夢です。

議長： ありがとうございます。他に。

委員： すみません。あの今の報告に関連しなくてもいいですか。

2つあるのですが、私は今、国際交流協会に所属しているのですが、外国人が加東市に今すごく増えています、1千8百人ですね。彼等に図書館を紹介しているのですが、日本語の勉強にあいうえおや簡単な絵本があるよと紹介しているのですが、まだまだ場所もわからないということで、外国の方にわかりやすい案内があればと思います。

ベトナム人が、資格を取る勉強をしているのですが、それに関連した本をできれば置いて欲しいです。

もう一つは、外国人は全然関係ないのですが、例えばおすすめの本というようにコーナーに書いてあるのですが、例えば藤本教育長のおすすめの本とか安田市長のおすすめの本というような偉い人でなくとも、アイガーのパン屋さんのおすすめの本とか、そういう特定の人のおすすめの本ならば、読みたいなというような感覚にならないかと思っています。

議長： また、提案が2つ程出ました。留学生に優しい図書館。蔵書はどのような本が希望かをいただければいいですね。

事務局： そうですね。

委員： 留学生は、兵教大の留学生と関係があるのですが、兵教大にも図書館があるのです。今、私が言っているのは、市内で働いている外国人、ベトナム人・ブラジル人・中国人の人に向けての優しい案内と勉強をする本や資格を取る本です。

教育長： 資格というのは、日本語の資格のことですね。それを取るとすごく有利になりますか。

委員： 会社によっては、給料を少し上げるというメリットもあるし、みんなその資格を取って自分の母国に帰って、その資格があるということで、就職しやすい日本企業に勤めやすいという、いろいろなメリットがあるのでみんな一所懸命に勉強しているのです。

事務局： 今年度、ポケットクという自動翻訳機を各館のカウンターに置いています。

実際には、コロナで入館制限があったので中央で1回しか使ったことがないのですが、ベトナムの方やいろいろな国の方が、図書館カードを作りに来られています。その時には、なかなか通じないので、ポケットクを置いたら対応しや

すいということで、配置しました。図書館の利用案内についても、英語はまだできていないですが、ベトナム語と中国語につきましては、日本語の図書館案内と同じ内容で作ってもらっています。そういうのは、置いておこうとしています。

委員： しかし、まだまだ周知不足で、なかなか皆さんにおすすめしても、きっかけがないのか、勉強をしている子はそういう本があれば、行きたいなと思うかもしれないので、是非とも参考書のような物が、あればいいのと思います。

日本語資格検定というのがあるのですが、毎年2回。7月と12月に。

事務局： それは、何語で書かれているのですか？日本語で書かれている？

委員： ベトナム語もあるし、いろいろあるのですが、ボランティアさん向けのもあるので、優しい英語とかいろいろあるのですが、それに関連した本をまた、国際交流協会にご相談いただければと思います。

事務局： 選書する時にもそういう本を入れたいなと思い、探すのですが、なかなか見つからないです。

委員： （国際交流協会の）事務局の方に聞いていただければ、一番よくわかっていると思います。

議長： （国際交流協会の）事務局の方から資料をいただいて、そういう本を購入していきたいということで、よろしいですか。教育長さんのお名前が出ましたが、他にもいろいろな工夫をされていて、題名がわからないように紙で包み、ヒントを書いてある本とかが作られたりしているので、そのような企画が組めるのであれば、協力しましょうね。

教育長： 興味関心のある方がおられるので、一つの方法かなとも思います。

委員： ただ、教育長がおられたのでお名前を出しただけです。すみません。パン屋さんでもコックさんでも、誰のおすすめでもいいのですが、どこかに名前を出して、そこのレストランの料理長が料理以外にこんなことに興味があり、こんな本を読んでほったんやということが、面白いかなと思いました。別に教育長だから教育関係ではなくて・・・

委員： 料理のレシピをね。男の料理みたいな・・・

議長： そういう意味では、おすすめの本というポストを作ってもいいかもしれませんがね。自分がいいなと思った本を、ニックネームでも書いてコグマちゃんよりおすすめというような形がいいかもしれません。いろいろなアイデアがわくと思いますので、ご参考にしていただけたらと思います。他、ありませんか。

委員： 失礼します。小学校の方では、おでかけ図書館でお世話になっております。子どもたちは本当に興味を持って出かけています。毎月おとどけ図書館で本を届け

ていただくのですが、子どもたちは喜んで読んでいます。ありがとうございます。先程お話にありました、読書感想文の参考になるようなおすすめの本というのは、子どもはどうだったのかなと思うのですが、毎年課題図書というのがある、決まった本もあるのですが、それを読まなくて、自由図書を選ぶ子が、どんな風を選んでいいのかということが知りたいところだったので、どんな本が出て、どんな本が人気だったのかという所を教えていただくと、ありがたいなと思います。それに関連して、国語の教科書の中では、自分が選んだ本を紹介するということが、どこの学年でも結構取り上げられています。自分が紹介したことが、また誰かが紹介されていることを読んだりすると、本に興味を持てるのかなと思ひ、その取り組みも楽しみだなと思ひました。怖い本のコーナーは学校にもあるのですが、いつも人気があります。そのような分け方もいいなと思ひます。

今回コロナのニュースに関連して、テレビを見てこれいいなと思ひたことがあったのですが、図書館も長く滞在しにくい状況になってきているので、予め図書館の方が選んで下さった本のセットというのが、いくつか用意されていて、それを取って借りていくということがあったのです。私は、割と何を借りようかな？と行く方なので、選んでいただいた本がセットしてあれば、そういう興味の広げ方もあるのかなと思ひました。好きな本や借りたい本を選びに行くだけでなく、そうではない利用の仕方も楽しめればと思ひました。

A L Tの先生が、毎週来られているのですが、その方は英語を教えて下さるのですが、日本語も同時に覚えていかれています。ひらがなとカタカナは読めるようになったから、絵本を読みたいと言われていて、ちょっとおすすめの私が面白いと思ひものを紹介したり、A L Tの先生が初級の英語のビギナーの小さな子が読むような英語の本を紹介してくれたり、絵本でも少し詩的なポエム的な、日本語としては優しいのだけれど、外国の人にとっては難しい物があって、選ぶことは難しいなと感じることがあって、そんなところから改めて本を見る機会があつて勉強にもなっています。ありがとうございます。

議長： ありがとうございます。いろいろと学校へも働きかけをされて喜ばれていることだと思います。中学校の方はいかがでしょうか。

委員： 失礼します。先日、滝野中学校から滝野図書館の方へおとどけ図書の選定に行かせていただいてありがとうございました。個人的に思っているレベルなのですが、国語の活動で本の帯を作る活動があります。私のこれまでの取り組みも、廊下に帯ばかり並ぶという不気味な話ですが、そのような廊下での展示か、図書室に展示するくらいだったのですが、例えば、滝野図書館・中央図書館・東条図書館等で採用してもらうとなると、子どもたちの活力になっていいのではないかな

と思っています。感想文もちょうど中学校もしているところなのですが、中学生の感想文はなんかいやいややっているというか、これだけ嫌な人がいるのに課題図書を出すのかと言われながら出したのですが、手助けになるものというか手段というか告知というかを、図書館と連携してできればありがたいです。教師も気楽に課題図書は何々、自由図書は何でも良いが、何年生なのでこれぐらいかな、というような程度のことしか、中学校でできていません。教育として、少しでも興味を引く本があれば、ちょっとでも書きやすくなるかなと思ったりしますので、いろいろこの先も相談させていただきたいと思います。

議長： ありがとうございます。

委員： 先程の先生方の話を聞いて思ったのですが、私はいつも本を供給する立場なのですが、日本児童文学者協会とか日本児童文芸家協会からも、たくさん本が出ていますが、ただ、なかなかそれがいきわたっていかない。例えば新刊として並べられていても子どもたちは、この本はどんな本なのだろうと手に取らなかつたり、すっと通り過ぎていく。そんな本の中にもたくさん良い本があるので、なにかポップのような物を作っていただくと、子どもたちはわかりやすいし、先程先生が言われたように、なにか学校の生徒さんがそういうポップを作って、共鳴されるのであれば、それはすごくいい考えだなと思いました。今から楽しみです。そのような交流をしていければ、本の世界が広がるのではと感じました。

議長： ありがとうございます。子どもが作った帯等を、是非図書館と連携して発表の場を作られてみてはいかがでしょうか。期待しております。

委員： コロナの影響で、貸し出した本や館内の本は、消毒等はされているのですか。どの様なことをされているのですか。

事務局： ビニールのカバーの付いている本は、以前から水では拭いていたのですが、今は次亜塩素酸水で表面を拭いています。本の中は拭くことができないので、ご自身が借りて帰っていただく時に、図書消毒機をご利用いただいております。本に関しては、中が紙なので消毒が難しいですね。

委員： 前から水で拭くということはされていて、今回は・・・

事務局： 次亜塩素酸水で拭く

委員： そんなに負担が大きくなったということではない。

事務局： そうですね。それに関しては増えてないのですが、館内は毎日3～4回は消毒と換気に回っていますので、その負担が少し増えました。

議長： ありがとうございます。他、ありませんか。

委員： 提案というか企画として、ちょっとGOサインだけもらえれば、すぐにしてやろうと思うのですが、ロッカー案というのを考えています。例えば市役所の余っ

ているロッカーがあったとして、例えば協議会の委員さんにロッカーを一つずつ与えてもらって、テーマを決めて本をセットにします。それを保管するというか貸し出しスペースを作ってもらおうというか、今までならテーブル等にコーナーをして、こんなおすすめ本ありますよ、とかされているのですが、この僕の思うロッカーの中にワンコーナーさせてもらえると、コロナの時とかに病院にこのまま貸していた物を、このまま引き上げる等移動がスムーズにできます。また、例えば僕が、トレーニング本で固めてコーナーを作ったり、僕がもっとアピールしたい所があるならば、僕の名前等を出して、先程の案のように誰それが選んだ本、というふうにできます。ロッカーにしてもらうと、特に子どもとかは、置いてあれば開けたくなるのです。開けてみると例えば中にトレーニングの本を並べてさらに、面白い仕掛けとかポスターを貼ってみるとか、野球を薦めるならば、野球のロッカーのように本があるという、その人によって個性も出せるし、問題があればすぐに引き上げることもできるし、いいのではないかと思います。

仕事が夜までなのでいつも休憩を見つけて図書館に来るのですが、このロッカーのやつを試しに24時間おかせもらったら、面白い企画になるのではと思うのでよろしくをお願いします。

議長： 滝野の図書館でということですね。滝野の方なので。

委員： 本が好きすぎて、各図書館の傾向があるので、全部を行かないと僕の思うような本が揃わないと思うので、全部行きます。

委員： ロッカーとは、どんな物ですか。イメージがわからないのですが。

委員： プロ野球のロッカールームに置いてあるような、着替えが入っているようなロッカーです。本が入れば本棚でいいのですが、ロッカーの方が少し強いというか軽トラ等にそのまま載せて行けるので・・・

委員： ロッカーそのものを置いていく。

委員： そのものを置いていく。たまに家族とそういう企画案を出し合うのですが、例えば怖いお話のやつをすると、僕ならば開けた時に、貞子やリングのセッティングをしてしまうと、もう開けただけで本に関係なく楽しめるので、そういうイベントにもできるぞ。とか、

委員： 怖いもの本ロッカーみたいな。

委員： とかもできるし、僕のロッカーを黒にってしまうわ、という感じで塗らせてもらったりとか、それこそ、いろんな人のやつをたくさん並べれば、僕のところが一番人気とか勝手に競争心理が働くのでいいのではないかと思います。

議長： その中の本は、そこから選んで借りるということですね。

委員： そうですね。

議長： ごそつとではなく。

委員： 公共の所にごそつと、貸す案もありだと思imasるので、図書館に置くのであれば、一冊一冊借りてもいいですし。

議長： 頭の中に、しっかりとイメージができておられると思うのですが、また検討していただいて。

委員： 一回持ってこい。と言われれば、すぐに持ってくるので。

議長： 行動力のあるご提案で、ありがとうございます。いろいろと幅広くご意見を伺ったのですが、他にありませんか。

その他で、事務局より何かございましたらお願いします。

(2) その他

説明：平成30年度実績、加東市立図書館の貸出密度が日本一。

議長： 最後にもう一度、何かご意見・ご質問・聞いておきたいことがあればお願いします。無いようでしたら、進行を事務局へお返しします。みなさん、ありがとうございました。

事務局： ありがとうございます。

以上を持ちまして、令和2年度第1回の図書館協議会を終了させていただきます。